

# こども感染症情報

14.10.1  
週報第508号

## ☆ 管内の主な感染症の流行状況 ☆

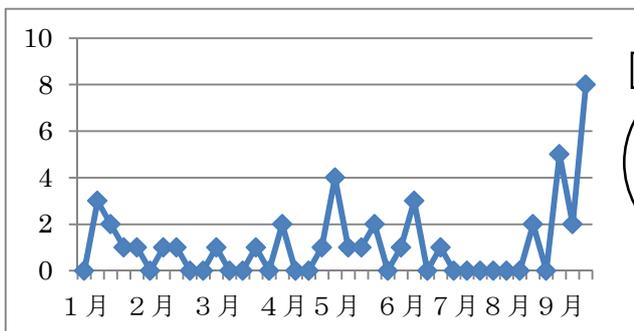
疾患名	管内状況第39週(9/22~9/28)※	
	発生数(人)	前週との比較
感染性胃腸炎	14	↗
溶連菌咽頭炎	7	↗
ヘルパンギーナ	4	↗
手足口病	0	→
水痘	1	↗
流行性耳下腺炎	0	→
突発性発疹	1	↗
伝染性紅斑	0	→
RSウイルス	8	↗

(参考) 秋田県の状況 ※ 第38週(9/15~9/21)
<全県の発生状況>
1位: 感染性胃腸炎 (全県で前週と比較して微減)
2位: 溶連菌咽頭炎 (全県で前週より41%増加)
3位: ヘルパンギーナ (全県で前週より53%減少)
4位: 水痘
5位: 流行性耳下腺炎
県内 警報・注意報 ありません
横手地域 警報・注意報 ありません

※「管内状況」は横手保健所管内の5小児科医療機関による  
※「秋田県の状況」は秋田県感染症情報センターによる

## RSウイルス感染症 増えています

横手地域のRSウイルス感染症の報告数が増えています。  
第39週の報告患者の年齢は0~2歳となっていました。  
年長児や大人の再感染もありますが、軽症で済むことが多いようです。  
みんなで、手洗いや咳エチケットをしっかりと行っていきましょう。



横手地域 H26  
RSウイルス感染症  
報告患者数(人)

### 横手地域・学校欠席者情報(9/30)

施設(数)	感染性胃腸炎	インフルエンザ	水痘	マイコプラズマ	おたふくかぜ	溶連菌咽頭炎	手足口病	伝染性紅斑
保育所・園(33)				1		2		
小学校(22)				1		1		
中学校(8)								
高校、他(7)								

感染症情報収集システムより(人)